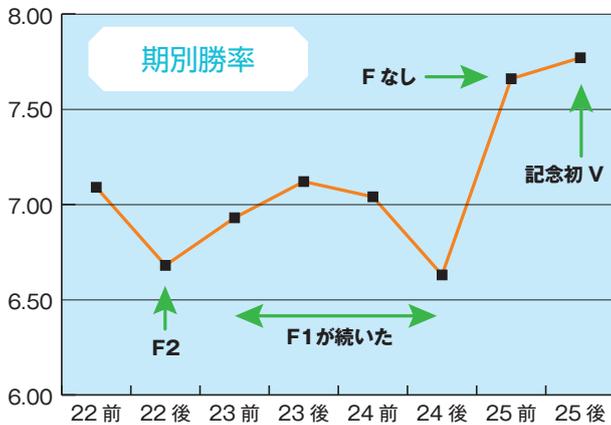




# 好調選手のトリセツ!

## Hot Racer's MANUAL!



### 4914 吉田裕平 (愛知)

	日付	場名	レース種別	通算日	節間成績
	初出走	2015/11/27 ~	常滑	タイトル	636416
	初優出	2018/06/15 ~	蒲郡	一般競走	2年9か月目 644122512⑥
	初優勝	2018/12/23 ~	蒲郡	一般競走	3年3か月目 1211441①
GI	初出場	2019/09/18 ~	三国	ヤングダービー	3年11か月目 213313351
	初優出	2022/12/01 ~	下関	周年記念	7年2か月目 6152132⑤
	初優勝	2024/11/09 ~	丸亀	周年記念	9年1か月目 1322161①
SG	初出場	2023/10/24 ~	蒲郡	全日本選手権	8年1か月目 123422③
	初優出	2023/10/24 ~	蒲郡	全日本選手権	8年1か月目 123422③
	初優勝				

昨年11月の丸亀周年でGIウイナーの仲間入りを果たした吉田裕平。一昨年までの吉田は優出は多いものの優勝は少ないタイプだった。一昨年末時点で同期の上田龍星は15V、小池修平は14Vだったのに対し、吉田は8V。優勝するにはもっと節間の着をまとめなければならぬと、自身も課題に挙げていた。しかし昨年はGI優勝を含め4優勝、すべてが1号艇からの優勝(うち1回は完全V)。節をリードする走りが、かなり見られるようになってきたのは、吉田にとって大きな変化だと言える。

F禍から抜け出し  
記念優勝まで駆け上がる!



前期は7・66と自己最高勝率をマークし、今期はさらに高い勝率を現時点で残している。その要因と言えそうなのがFをしていないこと。吉田は元々Fが多いタイプで、過去にF2が3回ある。通算F回数は17回で、上田や小池の通算12回と比べても多い。そんな吉田がここ2期はFをしていないのだ。

そして1着率がかなり上がっている。Fこそなくなったが平均STが落ちていることもないので、S力が高まったのは間違いないようだ。

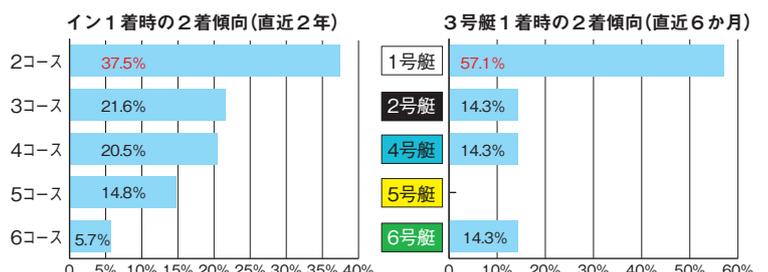
そんな吉田の狙いどころは、1号艇の回収率が100%を超えているところ。ただ、今年に入ってから吉田のイン逃げは3桁配当がかなり多くなっている。爆勝ちを狙うなら点数を絞る必要がある。直近2年では1-2の傾向がかなり強く出ている。

他に狙いたいのが3号艇時。1着流しの回収率艇番別で最高111・2%。決まり手の多くがまくり差しなので、2着の相手は大半がイン。目いっぱい絞って勝負するなら3-1だ!

4-6号艇のアウト戦からは、2、3着狙いが基本となる。4号艇時は約70%、5号艇時は約60%の3連対率を残しており、有力な2、3着候補になる。

表1 艇番別成績 (24/1/1~12/31)

	1着率	2連対率	3連対率	回収率
1号艇	83.9%	91.1%	92.9%	103.3%
2号艇	27.8%	38.9%	63.9%	48.2%
3号艇	28.6%	54.8%	81.0%	111.2%
4号艇	16.7%	36.1%	69.4%	33.4%
5号艇	8.3%	38.9%	61.1%	40.9%
6号艇	5.0%	27.5%	45.0%	20.8%

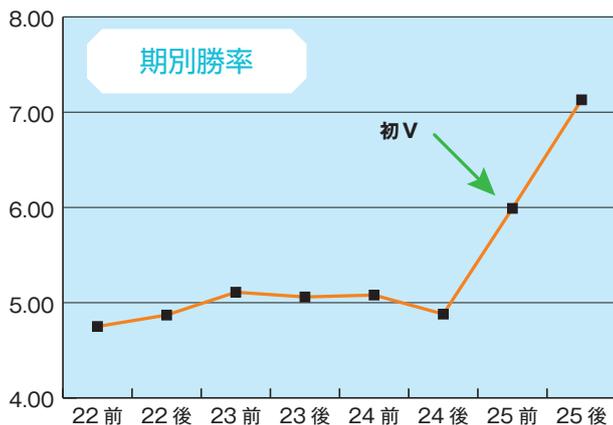




## 4884 勝浦真帆(岡山)

	日付	場名	レース種別	通算日	節間成績
初出走	2015/05/19～	児島	一般競走		56666566
初優出	2018/01/07～	大村	W優勝戦	2年9か月目	3123541⑤
初優勝	2024/10/20～	蒲郡	ヴィーナス	9年7か月目	131511431①

GI	初出場	(出場なし)
	初優出	
	初優勝	
SG	初出場	
	初優出	
	初優勝	



デビュー初優勝で激変  
3、4号艇時は穴に期待!

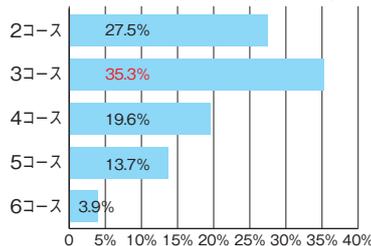
昨年10月の蒲郡ヴィーナス戦で、デビューから9年7か月で見事に初優勝を果たした勝浦真帆。その1回の優勝が勝浦を劇的に変えた。  
初優勝後の三国オール女子戦、多摩川ヴィーナス戦で連続優出。年末のクイーンズクライマックスシリーズで早くも2度目の優勝を遂げた。晴れ舞台となったのはまたしても蒲郡。当分、蒲郡では注目せざるを得ない。  
15年デビューの勝浦はここ数年、勝率5点前後でいたって尻といった成績を残してきた。

優勝した前期は初めてのA級昇格(勝率5・99)を決め、前期は現時点で7点台のA1級初昇格も間違いないといった勢いがある。なにしろ2連対率が爆上がり中で、1年前の倍となった。  
着順傾向としては初A級となった前期はそれまでより1着が増えていたが、新时期になってからはとにかく2着が増えている。特に2着が多いのが2号艇時と5号艇時。2か5に勝浦の名があれば、相手筆頭としたい。  
逆に頭から穴を狙いたければ3号艇時と4号艇時。年末のQCシリーズでは初日に4号艇でまくって勝ち、4日目は前半3号艇でまくり勝ち、後半の4号艇は差して勝った。11月多摩川ヴィーナス戦(優出2着)でも3号艇で1戦1勝、4号艇で2戦2勝と調整さえ合えば完璧な走りを見せている。  
特に回収率が高い3号艇1着時の相手を分析すると、意外にも左隣の2号艇が最多。まくりを多用する印象のある選手だが、決まり手は多彩。内艇が相手になるケースが多いことは、舟券を買う上で頭に入れておきたい。  
今年はレディースチャンピオン、そしてクイーンズクライマックスへと一気に駆け上がっていきけるのか。注目の存在だ。

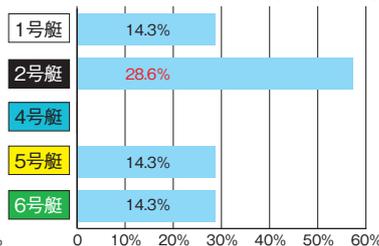
表2 艇番別成績(24/1/1～12/31)

	1着率	2連対率	3連対率	回収率
1号艇	67.4%	86.0%	90.7%	76.3%
2号艇	16.7%	52.4%	71.4%	39.7%
3号艇	26.8%	43.9%	61.0%	213.8%
4号艇	21.1%	34.2%	55.3%	131.8%
5号艇	4.3%	19.6%	32.6%	29.6%
6号艇	6.1%	12.1%	27.3%	106.3%

イン1着時の2着傾向(直近2年)



3号艇1着時の2着傾向(直近6か月)



好調選手のトリセツ!

# Hot Racer's MANUAL!